

# 市長としゃべらんで

四国大学・四国大学短期大学部

松重和美 学長 × 原井敬 市長

トーク  
企画



コワーキング・シェアオフィス「Ki-Da」にて

この度、吉野川市は四国大学および四国大学短期大学部と「地域貢献に関する包括連携協定」を締結しました。

協定締結にあたり、松重学長と原井市長の対談が実現しましたので、その模様をお伝えします。



松重和美 学長

四国大学・四国大学短期大学部



原井敬 市長

## 包括連携で目指す 地域活性化

**原井市長** 今年の広報よしのがわ6月号から開始した「市長としゃべらんで」と題した企画ですが、今回は四国大学さん、四国大学短期大学部さんとの包括連携協定締結にあたって、せっかくの機会です。松重学長にお時間をいただいております。伺いたいと思います。

**松重学長** 市長と気楽にしゃべるといのがテーマなんです。

**原井市長** そうなんです。第一回目は今年の4月に着任した地域おこし協力隊の3人とざくばらんに話させていただきました。今後定期的に特集記事として掲載できればと考えています。

**松重学長** 県外から来られた若い人は地元の人との視点とは違ったフレッシュな考えを持っていますね。

**原井市長** 学長も福岡出身なんです。ね。

**松重学長** 福岡県の博多生まれなんです。今は京都に自宅があるんですけど。

**原井市長** 以前は京都大学で教授をされていたんですよね。京都から通われているんですか。

**松重学長** 通っているわけではあります。徳島にも家があります。

**原井市長** いわゆる2拠点居住みたいな感じですか。

**松重学長** そうですね。普段は週末に京都に帰ったりしてんですけど、今はコロナ禍ということもあって、京都に行って徳島に戻ると2週間自宅待機で大学に行けないので3カ月くらい京都には帰ってなかつたです。

**原井市長** こういうご時世なので、都をまたぐ移動というのは気にしてしまっているんですけどね。現在、大学は再開されていますが、キャンパス内で講義を行っているんですか。

**松重学長** そうですね。ただ3密を避けるということで、部屋を分けてネットをつないで講義を行っています。遠隔講義は活用するんですけど、やっぱり人と人が顔を合わせての教育というのが必要かなと思っていて、それをどうマネージするかがこれから重要になってくると思います。

**原井市長** オンラインだったら学生さんもオンとオフの切り替えが難しいですよ。やっぱり先生と対面で講義を受けた方が緊張感や臨場感もあっていいとは思いますが、今の状況ではなかなか難しいですね。

**松重学長** 先生方もオンラインでの講義はいい面もあるけど準備が大変という人もいます。実は私もときどき講義を持っているんですよ。10人程度だったら画面に出るんですけど、100人近くだとなかなか一人一人を見るのができませんが、レポートシステムがありますので、それを見ていると勉強しているなと思います。

**原井市長** 学長が教えている分野はどういった分野なんですか。

**松重学長** 元々は工学系、電気系なんです。京都大学では学生ベンチャーで電気自動車を開発してマスコミにもかなり取り上げられました。四国大学では一般教養として徳島の魅力をどう考えるかとか、AI（人工知能）をわかりやすく解説するとか、そういう講義を年に数回やっています。

**原井市長** そうなんです。私も四国大学さんの取り組みを事前に調べさせていただきまして、最近のトピックというところとCO2プラス（地）知の拠点大学による地方創生推進事業ですか。

**松重学長** その前にCO2（地）知の拠点整備事業があったんですけどね。実は徳島県で文部科学省のこの事業に採択されたのは四国大学だけなんです。いろんな学生に地域に出てもらって、いろんな学びをしようという地域教育で、単位も取得できます。

